

また、良いお店を見つけちゃった！

オアシスで潜るパラオ！ PALAU

Photo & Text : Yasuaki Kagii

MAP
CLICK!

水中カメラマンになってから、何度も通っているパラオの海。たくさんダイビングセンターがあるけれど、今回は初めて「オアシス」にお世話になった。まず驚いたのは施設の素晴らしさ。風が抜ける心地よい空間で、ダイビングホリデーを迎えるのに完璧。そして個性豊かなスタッフ。明るくおしゃべり好きだが、実は細やかな気配りできるオーナー宮下実千代さんを初め、若くて勢いのあるスタッフからパラオの海を熟知したガイド陣が集う。リピーターに愛される「オアシス」へ。

S 驚き
surprise

DIVE SHOP KAYAKING SNORKELING GIFT SHOP DIVE TOUR
PACIFIC DIVERS OASIS



オアシスで潜るパラオ!
PALAU

オアシスの魅力

風が抜けるような施設をテーマに
2012年9月30日に新しく生まれ変
わったオアシス。

パラオの独立記念日(10月1日)の前
夜祭で、パラオの風習を大切にして、満
月の日にスタートをした。オープンテラ
スの素敵なダイビングセンターだ。マラ
カル島からコロールのMドックエリア
に移動して、目の前がプライベート港
で、自社桟橋を持つ(自社ボート6隻所
有)。ダイバーのための施設そのもの
で、ダイビングボートへのアクセスや機
材洗い場、干し場、そして、温水シャ
ワー、女性専用更衣室、パウダールーム
なども完備。また施設内では、Wi-Fiも
使用できる。

目の前にはマングローブ林が広がり、
そこで半日カヤックツアーも行ってい
る。そして、ローカルのものにこだわ
ったギフトショップ(PLUG-IN)を併設。
ストーリーボードやカゴ、サクセサーを多
く扱っている。そして、オアシスの釣り
部門「PLUG-IN」にも注目!

S 驚き
surprise



オアシスで潜るパラオ!
PALAU

オアシスの魅力をゲストが語る!

もう13年以上もオアシスに通っている木部真由美さんに、オアシスの魅力について聞いてみました。「まず、『スタッフが優しい』ということですね。それにゲストのリクエストに併せて、色んなことをカスタマイズしてくれます。例えば、ブルーコーナーでマクロの生き物のウォッチングや水中撮影と言ったリクエストでも、可能な限り対応してくれますし、また同じグループでガイドさんひとりの場合でも、きっちりとマクロのリクエストに応じてくれます。とにかくゲストの全員のケアを心掛けてもらっています。新しいスタッフの方が入ってきても、同じようにフレンドリーで、それは、川奈の姉妹店でも同じ雰囲気なのが、更に良いです。また、パラオ店のオーナー実千代さんは、シーズンになるとサワーサップを用意してくれなど、女性らしいサービスもあり、その心遣いがいつも嬉しいです。

ゲストが多い場合も、少ない場合でも、ポイントリクエストを聞いてもらえるのは当たり前でも、その上でコース取りやゲストのニーズにあった生き物を教えてくれる。また、お客さんの個性で遊ばせてくれるのが嬉しいですね。でも、むちゃくちゃに危ないことなどはさせない…のも好きです(笑)。

オアシスには、ダイビングに来ているのですが、リラックスしに来ているかも知れません。





オアシスで潜るパラオ/
PALAU



杉浦 翔が語る「ブルーコーナーの魅力」

ブルーコーナーは、すべてのダイバーが何度来ても、何百回来ても飽きないポイントです(笑)。定番のギンガメアジやバラクーダの群れ、メジロザメに加えて、ハンマーヘッドシャークやカジキ、オルネイトイグルイレイ未知なる生き物たちとの遭遇もあります。潮の流れが毎回違うので、ガイドとしては、ゲストを楽しませる使命感もありますが、ガイド自身として新しい発見の連続です。1分、エントリーのタイミングが違うだけで出会える生き物が変わる。そのぶんワクワク感や冒険心があり、いつも何か素晴らしい出会いを期待しながら、エントリーしています。



杉浦 翔が語る「ジャーマンチャネルの魅力」

ジャーマンチャネルと言えば、やはりマンタです。ジャーマンチャネルでは、マンタを至近距離で見ることができるのですが、頭上を通過する際の迫力は本当にすごいです。小さなクリーニングステーションの根に、2、3枚のマンタが集まります。その姿は、本当に優雅です。しかし、マンタ以外にも見所があり、ギンガメアジやオオメカマスの群れ、カニハゼ、チンアナゴなどのマクロ系もあります。マンタのリクエストがもちろん多いですが、もしマンタがいなかった場合も楽しんでもらえるようなガイドを心掛けています。

オアシスで潜るパラオ!
PALAU



杉浦 翔が語る「ブルーホール」

ブルーホールはパラオを代表する地形ポイント。時間帯と天気でその魅力は変化します。雲の合間から光が差し込んだり、天使の階段という光の階段ができたり、そして、スポットライトのような光があったりとまさに光の宮殿です。その穴の向こうにマンタやサメの姿を見かけることもあります。そして、実はマクロの生き物の宝庫でもあるのです。ヘルフリッチ、アケボノハゼ、ニチリンダテハゼ、ウコンハネガイなどなど。平均水深が深くなるので、滞在できる時間は限りがありますが、異空間を十分に楽しんでもらえると思います。



オアシスで潜るパラオ! PALAU

杉浦 翔が語る 「シアズトンネル」

シアズトンネルのあるウーロン方面はゲメリスに比べると青が濃く、サンゴの数も多い。シアズトンネルも、ブルーホールに似て、穴の中にいる時間は限られるが、ブルーホールとはまた違った楽しみができる。まず、ドーナツ状のギンガメアジが深海を思わせる。マクロの生き物は、ボルケーノシュリンプゴビー、アケボノハゼ、ニチリンダテハゼなど。そして、天井系の生き物は、ミナミハタ、コリンズエンジェルフィッシュ、バージェスパタフライフィッシュなど。出口の横穴には、大きなウミウチワがあり、ライトを当てると濃い赤が鮮やかによみがえる。ゲストのリクエスト次第で視点が変わるポイントでもある。



R โรมัน omance

杉浦 翔が語る「グラスランド」

どこまでも広がる白い砂地が魅力で、透明度も高い。ハウセキキントキ、オオメカマスはパラオの中でも、最大級の群れを作る。名前の由来であるアキアナゴ、水深1mから草原のようにびっしり伸びている様子から由来する。新月前には、カンムリブダイが2〜3千匹が集まって壮大な産卵行動を行う。それを狙ってブルシャークなどがやってくる、という素晴らしいポイントです。



A 行動 ction



オアシスで潜るパラオ!
PALAU

人の少ないのブルーコーナーを満喫することができる!

深夜発の場合、出発日も早朝ダイブが可能。5時半にホテルにてピックアップ、6時出航。ポイントは、朝一のブルーコーナー。ブルースノーという青い光るプランクトンや魚たちも大きな群れを作っている。朝一だと時にはイルカにも会える。ダイバーがまだ入っていないので、デイトタイムとは違った雰囲気を楽しむこともできる。2ダイブを終えて、10時にエキジット。この最終日ダイブは、ゲストのリクエスト次第。キャンペーンでは、最終日の機材レンタル無料(要確認)。

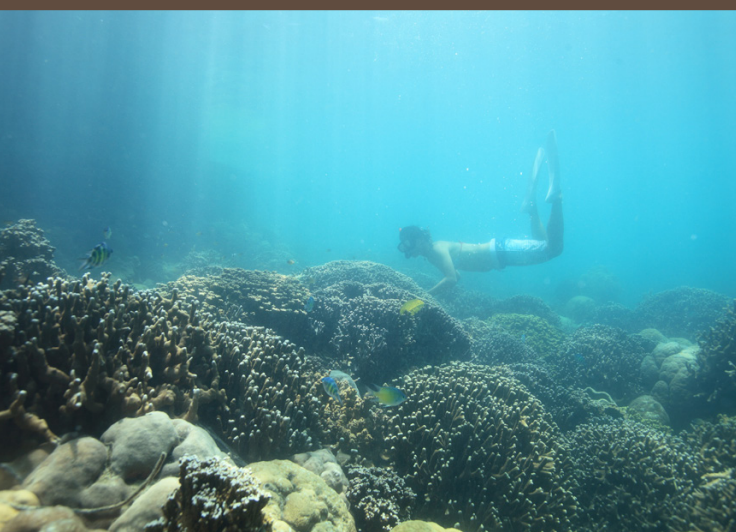


ネイチャーカヤック 半日エコツアー

オアシスでは、ネイチャーカヤックも人気がある。コースは様々あるが、お薦めは、目の前に植生しているマングローブ林を巡るコース。マングローブ自体が若く、大きな空を見上げながらマイナスイオンたっぷりの自然を満喫することができる。専属ガイドが付き、5種類のマングローブを観察したりする。距離もそれほど長くなく、半日なので、「なんちゃってカヤック」体験を是非!

最後は、ハウスリーフを楽しむ

オアシスは、川奈店に姉妹店があり、「カエルアンコウからマンタまで」守備範囲が広い。パラオ店では、お店の前のハウスリーフでも潜ることができる。3本目のダイビング終了後にエントリーして、ニシキテグリ、マンジュウイシモチ、コロールアネモネシュリンプ、幼魚系、チョウチョウコショウダイ、ヒメツバメウオ、珍しいハゼ(ピンクシュリンプゴビー)を楽しむことができる。



オアシスで潜るパラオ!
PALAU



宿泊施設 <ランドマークマリーナ> Landmark Marina

オアシスの目の前にあるリゾート施設。数年前にリノベーションして新しくなった。海を眺めるレストランや室内も美しく、快適なリゾートライフを演出してくれる。月に何回は、ブラジル風BBQも行っている。インターネットも完備。パラオの道は渋滞時もあり、オアシスの目の前にあるので、移動はとても便利。ランドマークマリーナに宿泊すると、まるでオアシスと一体となって、空間を楽しむことができる。



A 行動
Action